

第3回 松原市教育振興基本計画策定委員会 会議録

- 1 日時 平成30年11月12日(月) 午後3時から
- 2 場所 松原市役所8階 大会議室B
- 3 出席者
 - (1) 委員
西井委員(委員長)、西田委員、杉元委員、井上委員、恵我委員、森委員、瀧澤委員
 - (2) 事務局及び関係者
横田学校教育部長、高橋教育監、中瀬福祉部長、坂野市民協働部長、
浦井教育総務部次長兼教育総務課長、小川教育総務部副理事兼学校給食課長、
岡林学校教育部次長、青山市民協働部次長、芝田文化財課長、幸教職員課長、
山森教育推進課長、道屋教育研修センター長、前崎地域教育課長、
宮本教育政策課長、松本教育政策課長補佐、宮本教育政策係
 - (3) 策定支援事業者
株式会社 関西計画技術研究所
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 議案
 - 1) 松原市教育振興基本計画(後期計画)素案(第1章～第3章)修正案について
 - 2) 松原市教育振興基本計画(後期計画)素案(第3章2～第5章)修正案について
 - 3) その他
 - (3) 連絡事項
 - (4) 閉会

1. 開会

委員長

本日は、ご多忙の中、第3回「松原市教育振興基本計画策定委員会」にご出席いただき、ありがとうございます。

ただ今より、委員会を始めさせていただきます。

今回、ご都合のつかない委員もいらっしやいまして、3名の委員が欠席となっております。

委員の皆さまには前もって事務局のほうから資料をご送付していただいているかと思えます。お持ちでしょうか。お手元になればお配りします。

それでは、お手元の次第に沿って議事を進行させていただきます。

議案(1)松原市教育振興基本計画(後期計画)素案(第1章～第3章)について、資料の16、資料の17をご覧ください。修正された箇所一覧が資料16ですので、資料17もご覧いただきながら、どのあたりを修正したのかを確認していきたいと思えます。

2. 議案

(1) 松原市教育振興基本計画(後期計画)素案(第1章～第3章)修正案について

委員長

まず、1ページの8行目は、「めざす」を漢字に変えたということです。なお、修正箇所にはそれぞれアンダーラインが引いてあります。

5ページはイラストの削除です。子ども二人が走っているような前回のイラストを削除しています。

それから、12、13、18ページです。図表の11、12、13、14、15について、「小学校」「中学校」の標記を見やすく縦書きに直して、文字も大きくしてくれています。同じく18ページも図表をそのように修正しています。

13ページに戻りますが、13ページは「家庭での学習状況について」の「に」が抜けていましたので、「に」を入れています。

14ページは、「長座」「50m走」「大阪府」の箇所を修正しています。

17ページは、大きく変わりましたので資料17の17ページを開けてご覧ください。前は、図書館ごとの数値が細かな文字でたくさん入っていて、グラフも見にくかったのですが、それを改良していただいて、図書館全体で図に示しております。見やすくなったのではないかと思います。

18ページは「n=」が抜けていたので、入れているということです。人数という意味の「n=」が抜けていました。

次の18ページも委員のご意見に従って、真ん中の下のアンダーラインのところをこのように訂正しました。それから、図表の番号がずれてきていますので、18ページは図表の22と23ということになります。

19、20ページは、それぞれの表を見やすくしました。数字の1番多いところ、2番目、3番目に多いところに、網掛けをしています。1番多いところを濃くして、

3種類の網掛けにし、これによって見やすくしたということです。20 ページも同じです。

それから 21 ページですが、これは「機能していないと回答した人」という文言を挿入しています。それから委員のご意見によって、表の網掛けをなくしています。

22 ページは、「抑止」を「良くし」に修正しています。

24 ページは、これも委員のご意見で、「歴史・文化」と変更しています。前期計画では「歴史文化」とあったのですが「・」を入れています。

最後に、これも委員のご意見ですが、参考資料として、校区地図を一番後ろのページに付けています。これは、25 ページに入るのではなく、参考資料のほうに入るということです。中学校と小学校が入っています。あまり他にいろいろ入れると煩雑になってきますので、このような形にしました。

それぞれ委員の皆様からいただいたご意見が反映されているかと思います。この点について、いかがでしょうか。

私のほうでご説明をさせていただきました。すみません、本当は事務局がやるのですよね。事務局のほうから、他に付け加えることがあればお願いします。事務局、よろしいですか。

事務局 はい。

委員 いろいろと修正していただきまして、ありがとうございます。一つ気が付いたというか、どうされるのかお聞きしたいのですが。修正後に、もし「こういう表現をしたほうがいい」ということを事務局のほうで気が付かれたら、それは事務局のほうでやられるということですね。

事務局 単純な誤植などについては、こちらのほうで修正させていただきたいと思います。

委員 もう一度、また見直していただく訳ですね。

事務局 はい。

委員 25 ページに中学校区の地図をつけていただきまして、ありがとうございました。欲を言えば近鉄線の河内天美、布忍、高見ノ里、河内松原の駅的位置を入れていただいたら、より分かりやすいのではないかと思います。下に町名は出ているのですが。

他の資料でこうなっているのかも知れませんが、私としたら、近鉄線の駅を見て、大体こういう所だろうなと分かると思いますので。

委員長 これは、技術的に入れられるのでしょうか。これは出来上がったものですが、技術的に入るかどうかもまた検討していただいて。これは、どこかで使っているものなんですね。

事務局 おそらく可能だと思われまますので、少し検討させていただきます。

委員長 よろしくお願ひします。
修正の他の箇所について、委員の皆さん、ご意見や質問、感想などございませんか。

委員 8ページ、9ページの図表ですが、上の図では並びが、下から二中、三中、四中と上がっていくのですが、下のほうは逆になっているので、合わせたほうが比べやすいのではないかと思います。

委員長 なるほど。事務局の方で、並びをこのようにしたのは何か理由があったのでしょうか。

事務局 順番に入力していったところ、この並びになりました。

委員長 そうですか。自動的にこのように入るのですね。ご意見としては、松原中学校が上で順番は逆のほうがいいのではないかということですね。

委員 そうですね。例えば、4の表であれば、上から松中、二中とすれば、比べた時に上から順に比べられますよね。

委員長 図表の対照がしやすいということですね。9ページも同様ということですね。ご意見としてお願ひします。
他にいかがでしょうか。

委員 前回より分かりやすくなっていると思います。

委員 表自体、分かりやすくなっていると思いますが、数字が小さい。非常に難しいと思うのですが。体裁をきれいにしているのですが、数字が小さいのでなかなか見るのに苦しいです。

委員長 どうしても、5年間の経年比較となると文字が小さくなりますね。

委員 仕方ないといえば仕方ないのですが、なかなか見づらいので。

委員長 前期計画を見てみますと、これも同じ大きさですが、合計のところは太文字になっていますね。また、カラー刷りになってくると紙の質も良くなってくるので、若干は改善されるのかなと思います。前期計画は1行目、3行目、5行目というふうに、薄い色を入れたりしていますので、これで何とかなるのではないのでしょうか。文字の大きさは恐らく改善できないと思いますので、前期計画と同じような工夫をしていただけたらと思います。

事務局 はい。

委員長 他にいかがでしょうか。

委員 私もすごく見やすくなったと思いました。数字は確かに小さいですが。

委員長 委員、いかがですか。

委員 私も特に問題はないかと思います。拡大メガネがあれば、よろしいかと思います。

委員 前回、意見を言わせてもらった地図を入れてもらって、ありがとうございます。あと、資料要請になるかも知れませんが、前の資料10の10ページに土地利用の基本構想という地図があるのですが、この地図と中学校区の地図を隣あわせにして、各自、参考資料としてよく読んでいただいたら、よりイメージしやすいかなと思います。さっきの路線であったり、大型幹線道路であったり、大型集客施設がほしいどの学区にできるのかという地図が横にであったり、上下にであったりすれば、分かりやすいのかなと思いました。

委員長 それは松原市の第5次総合計画の中にある図ですので、これをそのまま参考資料にもってきて、先ほどの中学校区の図と並べて置くと見やすいのではないかというご意見ですね。

委員 はい。

委員長 ページ数の制限等に引っ掛からなければ、また、検討していただいて、お願いいたします。確かにおっしゃったのは、主要幹線が載っていますし、委員のおっしゃっている近鉄の駅も載っていますので。でも、やっぱり中学校区図に入れたほうがいいですか。

委員 入れたほうがいいです。

委員長 二つの地図を参考資料に入れたらどうかというご意見、中学校区地図のほうに近鉄の駅名を入れてほしいというご意見ですね。ありがとうございます。

委員長 またお気づきの点があれば、後日でも結構ですので、事務局のほうにお願いします。

それでは続きまして、議案の「(2) 松原市教育振興基本計画(後期計画) 素案(第3章2～第5章) 修正案について」、事務局より説明をお願いします。

(2) 松原市教育振興基本計画(後期計画) 素案(第3章2～第5章) 修正案について

事務局 続きまして、第3章の2～第5章のご説明をさせていただきます。まず資料18をご覧ください。ここには前期計画から修正させていただいた部分を記載させていただいております。かなり細かい部分がありますので、一覧にさせていただいております。

今回は後期計画を策定するということでお集まりいただいております。確かに、前期計画を継承すべき部分があり、引き続き書かせていただいている部分はあるのですが、あまりにも前期計画に引きずられ過ぎてもどうかと思いますので、今回の新たな素案でご検討いただきたいと思います。ただ、「絶対に前の方がよい」という部分がありましたら、ご意見をいただけたらと考えております。

全体を通して、大きな部分で説明させていただきますと、2点あります。

1点目としまして、まず第3章の2として、「成果指標の達成状況」をつけさせていただいております。ここは前期計画の成果指標を達成しているか、していないか、について書かせていただいております。ただ、ここは案として完全に固まるまで、できるだけ新しい数字に更新していきたいと考えております。その数字によっては、33ページ以降の内容に影響がある場合も出てきますので、そこはまた修正案としてご提示させていただきたいと考えております。

2点目としましては、33ページ以降の内容ですが、現在の状況などを踏まえて修正しています。大きなところで言いますと、例えば、33ページの◆の1つ目です。小学校では2020年度、中学校では2021年度から全面実施される新学習指導要領について記載しております。

次の34ページの「主な取組み」の「①地域とともにある学校園づくり」というところですが、ここは今後、地域と協働しながら小中一貫教育を進めていく方向性を記載しております。

続いて、42ページの◆の2つ目です。情報化の進展に対応したということですが、全小中学校へのタブレットパソコンの導入や無線LANの整備を行ったことに

ついて書かせていただいております。

43 ページについては、「②学校施設への空調設備の整備」であるとか、「(1) - 2 安心・安全な学校園づくり」の 2 つ目◆にブロック塀の改修について追加させていただきました。そこに関連いたしまして、44 ページの①にも「コンクリートブロック塀の改修について」書かせていただいております。これに関連して 45 ページの指標 C - 4 を改修率も変更しております。このように施設の整備について記載しております。

また本日、別で表を 1 枚置かせて頂いております。この部分につきましては、この資料を作成後に修正がありまして、表の「修正後」の文言に修正をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。申し訳ありません。

同じく、43 ページ、44 ページにインターナショナルセーフスクール・ISS については、三中校区が認証を取得しましたので、そのあとのことについての内容に変更させていただいております。

続きまして、47 ページの③は、学校における「働き方改革」の推進について、追加して記載させていただいております。

54 ページの④は、新図書館建設のところを追加修正しております。

このように現状に合わせて追加させていただいた部分を加えまして、成果指標や市民意識調査の結果などを踏まえまして、文章を修正させていただいている部分が多々ございます。

なお、5 章以降の参考資料の部分ですが、ここは前期計画同様、策定委員会の設置規則、委員名簿、審議経過、パブコメの結果概要、諮問書、答申書、用語集、それと、先ほどご意見のあった校区地図などを掲載させていただこうと考えております。

説明は以上になります。

委員長

ありがとうございます。

まず、第 3 章 2 はタイトルにありますように「成果指標の達成状況」になります。これは、前期計画にはない内容になります。成果指標 A から J について、まず基準値、目標値があり、現状値、達成状況とあって、現状としてどこまで達成できているのかということを書いています。それを受けて、第 4 章ではさらに平成 34 年度へ向けて目標値をどう設定するかということに連動しております。

例えば、25 ページの最初の A-1 から A-4 は、4 章の 36 ページに目標値が掲げられています。この評価についても、この評価法でいいのかどうかを検討していただくとともに、その評価に対応させて、この 36 ページの目標でいいのかどうか、また、こういう並べ方、書き方でいいのかも併せて検討していただけたらと思います。

それから 26 ページの B-1 から B-5 は、41 ページに目標が入っております。順にいきたいと思えます。まずは第 3 章 2 について、A の 1、2、3、4、B の 1、

2、3、4、5を順に見ていただいて、ご意見、ご感想、質問でも結構ですのでお願いいたします。まずは第3章2にいきたいと思います。

委員 達成状況の表現方法は、「達成」「未達成」の二つしかないようですが、例えば、「目標値にあと何%です」とか、それくらいの表現があってもいいのではないかと思います。「0」か「100」かではなく。

委員長 そうすると、A-1については、目標値は「大阪府平均以上」だったのだけど、大阪府平均以上になってないので「未達成」となっているが、それをどう書くのかですよ。

委員 具体的にということになると、表現は難しいですが。

委員長 そうですね。「未達成」でも惜しい未達成と、出来ていないというのを区別してはどうかということですよ。

委員 はい。

委員長 これは目標値と比較できるようになっている訳ですよ。

委員 例えば、小学校の達成率は99%とか、そんな感じですか。

委員 そのような感じです。

委員長 もしくは「◎」とか「○」「△」とかみたいな感じですか。そうすると、例えば、「大きく」はどの程度なのかは難しいですが、目標値を大きく上回ったら「◎」で、目標値を超えていたら「○」とか。小学校の場合は大阪府が58.5%で、現状が58.3%、90%を超えていますが、でも達成していないから「△」とか。何だか難しいですね。数値で表すのも同じですよ。委員がおっしゃったように「何%達成」のほうがまだ、分かりやすい。

文字をいっぱい並べますので、情報としては詳しく伝えることになりますね。「未達成」だったら、どの程度「未達成」なのか、確かに分かりにくいですね。「達成」はいいですか。「未達成」の場合のみ入れたほうがいいですか。

委員 そうですね。

委員 これは基本的に解釈が間違っていると思います。いわゆる学力テストの「達成」「未達成」の枠組みと、下のA-3の「読書が好きな児童・生徒の割合」やA-4の

「学校の授業以外で普段1日の勉強が30分以下の児童・生徒の割合」などがありますが、学力テストであれば専門的な数値があつて、それを基準としていいけれども、極端なことを言えば、読書が好きでないとだめなのか、となります。

「資料:学力向上アクションプラン」とあるが、私はこの資料は初めて見ました。ですから、基準がもともと違うと思います。それを並列にしているから、こういうような疑問が出る。何でも画一的にこのようにしてしまう、どちらかと言うと子どもの個性を損なうような数値が私は気になります。「達成」「未達成」をやりかけたら細くなるので、意見を言っていたらと思うのですが、並列するのはちょっとしんどいかなと思います。

委員長 というご意見ですが、いかがですか。ものすごく大事なところだと思いますね。

委員 25ページの26ページも全部同じです。朝食を食べないとだめなのかとかね。これらは「確かな学力」の向上と「生きる力」の育みということですが、学力テスト以外は「生きる力」の育みということを出していただいていると思うので、表現を分けてもいいのではないかと思います。

委員 目標値は平成27年度の基準値があつて立てられたと推測はできます。例えば、B-3の「いじめ」はどんなことがあつてもいけないので、100%になってほしいと思います。そして、現状値が96%でかなりの高水準ですが「未達成」ということです。ただ、下の「朝食を毎日食べている児童・生徒の割合」は目標値がなぜ「94.8%」なのかなと思います。幼稚園の職員なので朝ご飯も「100%」にしてほしいと思ったのですが、どんな基準でこの目標値を設定されたのですか。

委員長 そうですね、これは既に設定したものなので、次の第4章のところで審議できますので。

委員 そうなんですか。

委員長 それは事務局に根拠を聞きながら審議できることですので、4章のところで審議しましょう。

委員 はい。

事務局 「達成」「未達成」の評価でよいかということですが、実はこれについての詳しい内容は毎年度出るので。さまざまな意見をいただいて、私たちが取り組んできたことがどう子どもたちに響いたか、先生方に響いたか、学校教育を良くできたかという点検・評価があるのですが、そこにはもっと詳しく出ています。要は「小学校

の学力については全国平均に近づいてきたけれども、やはり中学校が課題ですよ」というようなことです。目標には近づいているけれどもやはりまだ中学校の学力について課題があるので、「5段階評価でいうと3です、4です」と指し示させていただいています。ここの中にはないですが、合わせて市民の皆さんにご覧いただけるようになってきているかと思えます。公表されていますので、もし、資料がご入り用でしたら言っていただければと思います。

事務局 今の点検・評価ですが、第2回の時に資料5として付けさせていただいております。平成29年度の点検・評価結果報告書になります。点検・評価については毎年行っておりますので、単年度評価が年度ごとに出るという形になります。

委員長 先ほど委員のほうから、Aの1、2、3、4について、「確かな学力」の向上と「生きる力」の育みが一緒なので分けたほうがいいのではないかという意見が出ましたが、いかがでしょうか。これは一緒にしたほうがいいと判断されたかとは思いますが、何か説明等がありましたら。どうでしょうか。

事務局 基本的な方針1ということで、「確かな学力」の向上と「生きる力」の育みとなっておりますが、重点目標(1)で「学力向上の取組みの推進」、重点目標(2)で「豊かでたくましい人間性の育み」という形で、一応、分かれてはいるのです。

また、31ページの「計画の体系」をご覧いただきたいのですが、この基本理念、基本的な方針については、松原市の教育大綱で決まっている部分になりますので、これは変更できない形になっておりますので、よろしくをお願いします。

委員 学力として出た数字と「読書が好きな児童・生徒の割合」や「学校の授業以外で普段1日の勉強が30分以下の児童・生徒の割合」が並列というのはどうでしょうか。というのは、一緒にするのがしんどいのではないかと思います。だから、ここを2つに分けたらよいのではないのでしょうか。ここは4ブロックになっていますが、2ブロックでもいいのかなと思います。

事務局 今のご質問について、ペーパーテストで出てくる数字もあるのですが、「学力」というのはテストで出てくる点数だけではなく、また、子どもの状況というのはそれだけではなくて、私たちの取組みを子どもたちがどう受け止めたか、ということが数字で出るものについても取組みの検証に使いたいと考えております。

例えば、読書につきましては学力との相関が強いといわれている項目でして、子どもたちが読書を好きになってほしいという取組みをした結果、子どもたちがどう響いたかというのを検証軸に使いたいということで「読書が好きな児童・生徒の割合」を成果指標としています。それも学力につながりますし、子どもたちが「家で学習する習慣」が身に着けば、それも「学力」につながっていくと国も言っており

ますし、私たちもそう捉えておりますので、「確かな学力」の向上というところに入れさせていただいております。

委員　　この「読書が好きな児童・生徒の割合」の目標値 76%という全国平均が、私たちから見れば低いのかなと。今のお話でいけば、もう少し数値が高くても良いのかなと感じました。

委員　　目標値が全国平均以上となっていたり、%のみで出ているところもあります。これをどう考えたらいいのかと迷われる方も出てくると思うので、ご説明いただいたように、「76%」が全国平均ということでしたら目標値を全国平均と書いてしまってもいいのかなと思います、数字ではなくて。そういう形で表記してしまえば、ここで迷いが無いかと思います。ただ、「いじめ」のところは全国平均よりやはり 100%のほうがふさわしいかなと思います。

委員長　平成 30 年の目標値のところは、文字で示しているところと数字で示しているところが混在していて、分かりにくいということですね。新たな後期計画でこれは変えられますよね。例えば、25 ページの A-3 の「76%」というのは全国平均を意味しているという理解でいいのですか。

事務局　　今、見ていただいている 25 ページが前期計画の実際の今の状況がどうかという部分になりますので、この部分につきましては前期計画の際にこれでやりましょうということが決まっています。

委員長　　数値を変える訳ではなくて、文言を（全国平均）とかを付け加えるということです。これが全国平均であれば、全国平均が目標値だと分かるように。上の欄では「全国平均以上」と書いてある訳ですから。先ほど出ました 26 ページの B-4 の「朝食を毎日食べている」の目標値が「94.8%」というのは、これは何の値ですか。

事務局　　「94.8%」は、平成 27 年度の全国調査における朝食の摂取率でございます。今の論で申しますと、94.8%に下に（全国平均）と入れることはできるかと思います。ただし、今まで全国調査にあった項目、平成 27 年度には全国の子どもたちが答えている項目も年を追って変わっていきます。現状値の算出資料のところを見ていただきますと、「全国学力・学習状況調査」というものもあれば、市で独自で取っております「学力向上アクションプラン」という資料もございます。こうなりますと、全国調査の数字が出てこないところもあるということは踏まえておかなければならないと思います。

委員長　　この目標値がどこから出ているのかという根拠が示されれば分かりやすいとも

思いますし、また、それが励みにもなるのかなと思います。付け加えられるものは付け加えることをお願いしたいと思います。それが次の第4章の目標値にもつながっていくかと思います。

他にご意見はどうでしょうか。

委員のAの1、2、3、4は一つの括りにしますが、そういうことでよろしいでしょうか。

委員 前期からこういう形になっていると思うので、他の委員さんがこれでよければ結構です。今、ご説明いただいたようなことを聞けば納得できますが、これを見ただけではペーパー試験の結果と違うなと思いました。

委員長 あと、25ページのAの1ですが、国語と数学の平均正答率となっていますが、2教科を合わせた平均正答率になっているのですね。これは大阪府でもそのように出しているのですか。教科ごとに出ていることは出ていますよね。こういうふうに合わせたのは、どういう根拠からでしょうか。

事務局 どちらか一方という訳にもいなくて。別々に出すこともできますが、これについては「学力」という指標で大きく括って出させていただきました。

委員長 確かに、教科別に出すとまた煩雑にはなりますよね。

事務局 実際のところ、国は教科別、知識・理解を中心にしたものと活用の力を見るものと分けて出しております。国はそれを合算して出すことはしていないのですが、ただ、委員長がおっしゃったように非常に煩雑になるということで、大阪府などは目安として合算したもので比較しながら、子どもたちの状況を把握するのに示している場合がありますので、それに準じたのご理解いただければと思っております。

委員長 全国のテストだけで、0.5点差とか、1点差だけで大騒ぎをするなということなのでしょうね。一つの目安としてほしいという意味合いでしょうね。これだけを取り上げて細かく出してしまうと、そこだけがとても強調されて、1点上げないといけない、2点上げないといけなくなるとなりかねないですから。それ以外の取組みをどうするかというトータルな視点からざっくり捉えるという考えのようです。

あと27ページ以降はいかがでしょう。

事務局 一点、よろしいでしょうか。すみません。28ページまでということで、今度は間違いなく修正です。28ページのD-3に「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、」というところがあります。基準値72.4%、目標値100%、その現状値の結果ですが、「96.7%」ではなく、「45.5%」です。ちなみに下に括弧をつけるとす

れば、全国が「53.5%」です。申し訳ございません。そのように修正をお願いいたします。それと、すみません、今のD-3のところのいちばん右側の「現状値の算出資料」が【資料：全国学力・学習状況調査学校質問紙調査（H29）】となっておりますが、（H30）でございます。失礼をいたしました。

委員長 D-3は基準値自体がとても高かったのですね、72.4%と。

事務局 そうですね、27年度は。

委員長 それで、100%を目指そうとしたけれど、実際の全国平均が53.5%ですか。

事務局 そうですね。実はこれは4段階の評価になっておりまして、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」とありまして、上二つの肯定をとれば市内は100%で、学校運営は組織的にできていると申し上げるのですが、「そう思う」のみになりますと45.5%になります。

委員長 25ページから28ページ、ここまでが学校教育になります。29ページから30ページが社会教育になります。ここままで何かありますでしょうか。

委員 27ページのC-1の「トイレの整備率」について、後々の資料を見れば何のことか分かるのですが、これだけだと何の整備をしたのか分からないので、例えば、「バリアフリー」とか、「洋式トイレに変える」とか、何を整備したのかが分かるような文言を注釈に入れていただいたら分かりやすいかなと思います。

委員長 これはいかがですか。

事務局 トイレの整備ですが、整備できていない部分について整備をしていっているところですか。前期では整備率を挙げさせていただいているのですが、後期のほうで整備率を挙げるのか、例えば、今おっしゃっていただいたように洋式化率を挙げるのかというところで、今、判断に迷っているところでございます。

例えば、小学校、中学校合わせまして、松原市は22校あります。だいたい校舎が2棟あるいは3棟あり、その一棟ごとにトイレがあります。22校に2棟ずつとしましたら、44箇所になります。これを1年間に1箇所、2箇所整備するとなりますと、かなりの年数がかかってしまいます。最初にやった所がまた古くなっているということがございますので、整備率をあげたほうがいいのかどうか迷っているところでございます。整備率にするのか、洋式化率にするのかはこちらで考えさせていただければと思います。ただ、前期の計画につきましては、こういう計画でやらせていただきますので、これにつきましては、先ほどおっしゃっていただきました通

り、どういう整備をしたかという文言を「算出資料」のほうに付け加えさせていただけたらと思います。

委員長 これについては、予算面を含めての制約があるので、大きな数値を出すとしんどいですね。

事務局 はい、そうですね。

委員 ちょっと前に戻るのですが、「達成」「未達成」というのがある訳ですが、教育委員会としては個々の学校の統計が当然ある訳ですね。何々小学校だったら何%とか、達成している小学校、中学校があるのではないかと、多分、そうではないかと思うのです。そういったものは数値には出ないのですか。出さないのですか。

事務局 個々の学校のデータにつきましては、やはり、学校を取り巻く地域の状況など、さまざまな条件がございますので、それをオープンにすることで、そういう調査になかなか協力したくても、協力しづらい状況になってもいけませんので、学校別については今のところ出してはおりません。学校ごとに校長が判断されて、ホームページに公開されている数字もございます。そこは学校ごとにご判断いただくというふうに考えております。

委員 今、松原はそういう方針ということですが、全国的あるいは大阪府下でもそういうのが一般的なことなのでしょうか。

事務局 例えば、全国調査の結果などを学校別に市が公開されているところは非常に少ないです。一般的ではないかなと思います。学校と相談されて決めておられる市もありますし、やはり地域の状況がいろいろ違うので、公開しないとしている市町村も結構、多くあります。

委員 分かりました。

委員長 29 ページ、30 ページの社会教育について、いかがでしょうか。社会教育について、事務局から何かありませんか。

委員 30 ページの基本的な方針3 ので、「歴史文化の振興」ですが、この前、提案させていただいた「歴史・文化」の「・」が抜けています。統一上の問題ですが、お願いできればと思います。

事務局 これはあくまで前期の計画を載せているので、どうかなとは思いましたが、問題

はないと思います。

委員長 数値を変える訳ではないので、入れても問題ないですね。30 ページの J のところ、重点目標 (1) の「歴史文化の振興」に「・」を入れてくださいますか。

事務局 はい。

委員長 この社会教育のところは、他はよろしいですか。他の委員の皆さま方もよろしいですか。

では、時間もありますので、お気づきの点があれば、後でもお聞きするとしまして、次は4章にいきたいと思います。

ここが、先ほどの30ページまで見てきました現状値を受けて、新たに目標値を設定するところです。それが今回の後期計画の重要なところになってくると思います。33ページから始まる文言につきましては、お気づきの点があればおっしゃっていただきながら、まず、36ページにある現状値、目標値の設定の方法、現状値は前の25ページにあった平成30年の表のままです。次はこの目標値がこれでいいのかどうか。ご意見などありましたら、お願いします。

委員 平成34年はないので、こういうのはどうされるのですか。資料18の35ページの⑦の一行目、「平成32年度の～として、」を削除とありますが、新しい年号になるので、削除されたのかなど。中身は詳しく見ていないですが、それと同じことかなと思います。どういう表記にされるのかなと思いました。

委員長 この計画の発行は来年度の年号が変わってからの発行になるのですか。

事務局 はい。その予定です。

委員長 でも、それはこれでいかにざるを得ないかと思いますが、事務局、いかがでしょう。行政ではだいたいこういうふうにしますよね、無くなる場合でも。平成31年まではある訳ですよね。そこから新たな元号がスタートするので、それを全部盛り込むということですね。それまでは現行の示し方でいくしかないですね。委員としてはいかがですか。

委員 それは西暦にするのは大変ですし、国や府に指針があるのではないかなど。これがまずいという問題ではなく、他のところに平成表記があるので、平成34年でもいいのかなと思いました。しかし、これを西暦に直すのはおかしいかなとも思っています。

事務局 国のほうからも特段ないですし、国の教育振興基本計画も平成のままいっていま

すので、今は変えるに変えられない状態です。

委員長

いいのではないですか。新たに発表があつてから変えていただくことになろうかと思ひます。

36 ページと、それから 41 ページが B-1 から 5 になりますが、3 章では 37 ページになります。

それから、前もつて委員のほうから、質問をいただいています。【41 ページの B-4 「朝食を毎日食べている児童・生徒の割合」の目標値が 94.8%で、この目標だけがなぜこんなに細かいのか、根拠は何か】という質問です。どうぞお願いします。

事務局

先ほど少し出ました朝食のところですが、現状値は「91.1%」です。記入するとすれば、その下に（全国 93.2%）です。目標値のところ「94.8%」とありましたのは、27 年度の全国調査の結果として、未達成だったのでここを目指そうかと考えていたのですが、国のほうが「93.2%」ということですので、その目標値のところはシンプルに「全国平均」と書かせていただいたらいいのかなと思ひておひります。

委員長

そうすると、91.1%の下に「(全国平均 93.2%)」と入れて、右の目標値は「全国平均」として、数字は入れないという修正ですね。

事務局

はい、そうです。

委員長

それから、同じく委員からのご質問です。【39 ページの⑨「給食を活用した学校全体での食育の取組み」の 2 行目に「各教科や道徳」となっています。道徳というのは今までは特別な科目になっていましたが、今は教科に入っています。これでいいのでしょうか】というご質問です。お願いします。

事務局

ありがとうございます。確かにおっしゃる通りでございます。小学校は今年度から教科になっています。中学校は平成 31 年度からの教科化ですので、ここは「給食指導をはじめ、各教科、」として道徳を各教科の中に入れてしまおうと思ひます。

委員長

他に皆さま方から、ございませんか。

委員

先ほどの 26 ページの指標 B-5 「公立幼稚園の園庭開放などの子育て支援事業に係る事業の参加者数」のところ、今年度のみが見られているように受けとめられるのですが、松原市では平成 28 年度から「すくすくポイント」という制度が始まっております。一度、園庭開放に来ると 1 ポイント、1 日に複数箇所回ってもポイント制ということで、確かに現状としても伸びていると実感として感じています。それで、実際に 27 年から 30 年でグッと伸びているのですが、41 ページの目標が

また 500 人ほど増えるように目標設定されているのですが、実際に出生率が下がっていて、働く機会が増えているのに、こんなふうにプラスすることが果たしているのかどうか、私も判断しかねるのですが、どういう根拠で 500 人増やされたのかなと思います。

委員長 事務局、いかがでしょうか。

事務局 この数値につきましては、子ども未来室からの数値という形になっております。今年度中に園庭開放に参加されている保護者のアンケートをとって、どういうふうなことを希望されているのかを詳細に分析して、今後の園庭開放に役立てていくということになっていきますので、その辺も含めて目標設定されたのかなと思います。

委員長 よろしいですか。

委員 はい、もちろん人数が増えるというのは表面的には数値としてはいいように感じているのですが、現状、あまりないものの目標を高く設定してしまうと、また「未達成」になってしまうのはどうかと。十分たくさんの方が来ていらっしゃる現状を感じていますので。すぐの返事でなくても結構ですので、ご検討いただけたらと思います。

委員長 同じ 41 ページの B-1 ですが、目標値が「H30 実績以上」とあるのですが、この平成 30 年の現状値「71.5%」を指すということでしょうか。

事務局 すみません。その目標値が「H30 実績以上」とありますのは、国の実績のことでございます。ですので今年度で言いますと全国の「81.4%」を 5 年後の一つの目標値として設定していきたいと、このような意味合いで書いております。

委員長 当然、71.5%を超えないと目標値にはなりませんので、そうだとおもうのですが。

事務局 国の実績という意味合いでございます。

委員長 どう表記しましょう。

事務局 先ほどの論議で申しますと、全国の数値を書いて、シンプルにするのであれば、例えば、「H30 全国実績」を目標値にするという書き方かと思います。

委員長 「全国実績以上」ですか。

事務局 「H30 全国平均」という入れ方ではいかがですか。

委員長 「H30 全国平均」ですね。
そうすると、その下のD-2は「平均以上」でいいのでしょうか。

事務局 割と全国に近いので、以上にしたのですが、揃えるほうがいいのであれば「以上」は要らないと思います。

委員長 揃えるのであれば「H30 全国平均」として、「以上」を取って、「H30」を入れるのですね。

事務局 はい。

委員長 B-3の「いじめ」は、100%の目標でいいですね。表記を揃えらなれば、B-4も「H30 全国平均」と入れましょうか。

事務局 そうです。ありがとうございます。

委員長 そして、B-5の5000人というのは検討していただくということですね。子ども未来室ではもっともっと増やそうかという感じですか。

委員 いえ、そうではないのですが、どのような取組みの工夫をしていますかというアンケート等々は回ってきますし、我々もいろいろな工夫はしているのですが。

委員長 次回は500人増で、きつそうだなと思いますが。

委員 根拠があればそれでいいのですが。

事務局 福祉部です。今、前期・後期計画で一応、数値目標という形でさせていただいていますが、今後、第2期の計画が策定される時に一度、平成34年の結果を検証して、本当に数字で見るのが効果なのか、受けて良かったと思われる数なのか、もう一度その辺は議論をしながら、とりあえず前期・後期は数字で追いかけてみたいと思います。

まず、地域で子どもさんを見るということと、どういった子どもさんが地域にいるのかということを見ていって、いろいろな子育て支援の方針を模索しているところがございます。まず、皆さんに来ていただいて、いろいろな所で子育ての悩みや負担に感じることを聞き出して、展開していきたいと思っています。次はまた、考えさせていただきたいのですが、今回は数字で追いかけていきたいと考えています。

委員　　この 5000 人は重なっているのですか。例えば「Aさん」を何回もカウントしているのではないのですか。

事務局　　延べ人数ですので、実際はそうなると思います。

委員　　そうですね。だから、1 人の子どもさんとお母さんが何度も来られた数がこれですね。だからこれは、幼稚園だけでなく、例えば、公民館や図書館の利用と同じようなことと思います。その辺の人数の見方だと思いますね。

委員長　　リピーターをどう増やすかということですね。出生率の低下に伴って、新規はなかなか難しい、その予想の数字を入れていただけたらと思います。

時間的なこともありますので、次に行きます。次は 45 ページの C の項目になります。ここに、先ほどおっしゃったトイレの整備率が出てきます。あと、ブロック塀のことや認定こども園 2 箇所の開設とか、そういう新規のものも入っていたりします。45 ページを見ていただきながら進めたいと思いますが、委員が以前エアコンのことをおっしゃっていましたが、42 ページにはエアコンの設置、43 ページに空調設備の整備なども盛り込まれております。

では、45 ページの C-1 から 6 について、いかがでしょうか。何かございますでしょうか。

委員　　C-4「ブロック塀等の改修率」の目標は 80%以上となっていますが、100%にはならないのですか。

委員長　　はい、事務局、どうでしょうか。

事務局　　今、ブロック塀の改修率で挙げさせていただいているところにつきましては、地震に伴いまして、いろいろな要望があり、学校を通じまして教育委員会等で査察させていただいたのがまず根本となっています。これにつきましては、優先度を計りましてやっていくということです。それ以外に、基準には適していますし、押し下りしても全然ぐらつきがない十分なブロック塀が残る可能性があります。そうなると 100%というのは難しいというのがございますので、今のところは先に改修していかないといけない 3 ランクの部分をまずいちばんにやっていこうというところで 80%としております。

委員　　命に関わる危険性はほぼ無いだろうという前提での 80%の改修率ということですか。

事務局　　はい、そうです。

委員長 児童・生徒、人が通りそうもないような所が残り 20%くらいだということですか。

事務局 はい、そうです。

委員長 他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
47 ページにD-1 から 3 が出てきます。D-1 ですけども、これも「H30」を入れましょうか。これは「全国平均以上」でいいですか。

事務局 統一して目標を「全国平均」とさせていただきます。
もう一つ、よろしいでしょうか。そのページのD-3 ですが、先ほど 28 ページのところで修正させていただきましたが、「学校運営の状況や課題を全教職員が共有し」の現状値は「45.5%」でございます。その数字の下に（全国 53.5%）でございます。目標値は「H30 全国平均」と修正をさせていただければと思います。

委員長 これで文言の統一もとれてきました。委員の皆さま、よろしいでしょうか。
次は 50 ページになります。E の項目になります。「中学校区フェスタ参加人数」と「子ども 110 番の家に係る登録件数」です。どうですか、フェスタは 23,000 人から 35,000 人ですが、12,000 人増えて、各学校に聞き取りとあるのですが。これはどういう設定ですか。

事務局 地域教育課です。23,000 人というのは平成 27 年度の数字をそのまま持ってきているのですが、現在、フェスタをやっている途中で、正確な数字が 23,000 人の中に入っていないので、それを入れていけばもう少し上がります。ちょうど今、途中で、終わった学校と終わっていない学校がありますので、そういう差でこういう形でさせてもらっています。

委員長 実際、35,000 人くらいは可能ではないのかということなんですね。

事務局 はい、そうです。

委員長 平成 27 年度が 22,000 人で、平成 30 年度の現状値が 23,000 人よりもっと増えているだろうから、35,000 人じゃないかと。年々、増えているということですね。

事務局 増えています。ただ、その時の行事によりまして、重なっている行事がある場合は若干の上下はします。その辺のところは毎年、増えたり、減ったりするのが現状です。ただ、最終目標は 35,000 人という形で、どの団体さんもやっております。

委員 多過ぎませんか。先ほど、幼稚園の話がありましたが、実際、減っていますから。まあ、地域の方が来ていただいたと考えたとしても、増やし過ぎかなと思います。

事務局 毎年、5,000 人を集めようということでやっていますので。この目標でやります。

委員 フェスタだから、児童・生徒が対象だと勘違いされる人もおられるのだけど、実際、高齢者の方の参加も多いので、その校区のデイケアサービスなどの施設からも出てきていただいたりということもやっています。当然、子どもさんは少子化で減っていきますけども、どんどん元気な高齢者の人が来るので、この目標でいけばいいのかなと思っております。

委員長 そうすると、フェスタが終わった時点で現状値が変わるということですね。

事務局 平成 30 年の現状値でしたら、変えたいと思います。

委員長 そうすると、28 ページのところも変えたほうがいい訳ですね。

事務局 はい、そうですね。

委員長 すると 23,500 を超えたら、「未達成」ではなく「達成」に変わるのでですね。資料が変化するところもあるということですね。

事務局 はい、変わります。

委員長 変更になるかも知れないということです。心にとめておいていただいて、修正していただけたらと思います。23,000 人は超えるだろうけど、目標値の 35,000 人はどうですか。達成しなかったらどうこうということではないのでしょうかね。

次に行って、よろしいでしょうか。

次は 51 ページの F-1 ですが、目標値が「H29 実績以上」とあるのですが、H29 の実績というのは。

事務局 この部分につきましては、「青少年指導員の年間活動日数」と書いてあるのですが、前期では、「市内の青少年の補導件数」でやっておりました。青少年指導員の活動指数ということになりましたら、それよりも活動日数のほうが当てはまるのではないかと思ひまして、活動日数にさせていただきました。「381 日」というのは平成 29 年度の実績です。

委員長 そうすると、「381日」の下に括弧で（平成29年度実績）と入れたほうがいいですね。下もそうでしょうか。F-2の「8,891人」というのも。

事務局 はい、そうです。

委員長 （平成29年度実績）ですね。

事務局 はい。

委員長 では追加をお願いします。そうしたら、「現状値」の下に（H30）と書いてありますよね。どうしましょう、この（H30）を残しますか。平成30年に入ってから数値を挙げたのでということですか。

事務局 はい。その通りです。

委員長 では（H30）はそのまま残して、下のF-1、F-2の現状値に（平成29年度実績）と入れるということですね。F-2の目標値は、具体的に数値を挙げていますが、これは。

事務局 今、大阪市青少活動協会に指定管理をしていただいております。また、平成31年度からもこちらのほうに指定管理を継続していただく手続きを、今、進めているところでございます。活動協会から具体的な提案をいただいております。9,200人をこの年の目標でやるという提案が挙がっておりますので、この数値を挙げております。

委員長 わかりました。根拠があるということですね。

次は53ページになります。

G-1「生涯学習地域サポーター」、G-2「子どもの見守り隊」、G-3「子ども110番の家」それぞれ現状値、目標値がこの値です。

委員の皆さん、よろしいですか。

委員 今の53ページのG-1の「まっcom」の現状値、目標値が170件となっておりますが、他のところと比べて、ここだけは一緒になるのですか。

事務局 同じではないかということですが、平成27年と平成30年を比較しましたら、170件に増えてはいたのですが、実際、経年的に見てみますと、実は毎年の登録件数は少し増えたり、減ったりとでこぼこがあるのです。この登録件数は高齢化が要因になっているのか、取り消す件数も毎年ある中で新規の登録を確保してい

きたいということがございます。ですので、まずは現状維持を目標として、中の活性化を図っていききたいというところで同じ数にさせていただいております。

委員長

はい、わかりました。

他によろしいですか。

次に行かせていただきます。次は 55 ページ、Hの 1、2、3、4になります。いかがでしょうか。

委員

H-3の目標値で、幼稚園数が2園になっているのですが、この頃にはおそらく統廃合で、認定こども園が生まれていると思うのですが、その辺りの表記はどうですか。

事務局

1園多いです。1園にさせていただきます。平成35年度に認定こども園2箇所が達成されれば、幼稚園は四つ葉幼稚園だけになるという計画にはなっております。さまざまな認定こども園の整備方法があるのですが、1園が正しいと思います。

委員長

平成34年の段階だったらすね。ありがとうございます。これは1園です。

他によろしいでしょうか。

委員

54ページの「今後の方向性」の●のいちばん下の「文化芸術」を、先ほどの「文化・歴史」にこだわって申し訳ないですが、文化と芸術に分けたほうがいいのではと思います。

委員長

ご意見ですね。「文化・芸術」ですね。

他にありませんか。

次に行きます。57ページI-1「スポーツ施設利用者数」、I-2「スポーツ施設などの参加人数」になります。いずれも延べの人数ですね。

事務局

はい。

委員長

次の58ページもご覧ください。最後になります。J-1「指定文化財指定数」、J-2「歴史文化関連の講座などの実施回数」J-3「郷土資料館の入館者数」です。57ページは「歴史・文化」で統一されています。58ページのJ-2のタイトル「歴史文化」のところも「・」を入れてください。右側の「郷土の歴史文化」のところも「・」入れてください。

事務局

よろしいですか。文化財課です。先ほどの「・」の抜けている部分はこちらのほうで修正させていただきます。

合わせまして指標の J-1 の現状値が 6 件となっているのですが、先ほどの 30 ページのほうでは 3 件となっています。実は先日、新たな文化財が登録されたのですが、最新のデータの書き換えができておりませんでした。30 ページにつきましては、現状値が 6 件ということで、「未達成」が「達成」となります。それに伴って、今後平成 34 年の目標値として 6 件から件数を増やすということで 8 件です。ほやほやのデータということで申し訳ありません。修正をよろしく願いいたします。

委員長 30 ページを修正するということですね。現状値が 6 件で、「達成」ですね。

委員 57 ページの「文化財の保護と活用」の「現状と課題」の◆の二つ目のところで竹内街道を書いていたのですが、「平成 29 年 4 月に古都飛鳥と難波を結ぶ」は、順番を逆にさせていただいたほうがよいと思います。と言うのは、後ろに「竹内街道、横大路(大道)」となっているので、それに合うのであれば、難波から行かないといけないですし、多分、他の表記がそうなっているのではないかなと思います。よろしく願いします。

事務局 修正させていただきます。

委員長 あとは 53 ページの第 5 章です。第 5 章は前期計画と同じ 1 ページです。前期計画の時は 1 から 4 まであった訳ですが、前期計画の「4 計画の周知」は、上の「1 進捗状況の点検・評価と計画の周知」というところに入っております。最後に急ぎ足でしたが、ここまでが今日、審議する内容になっております。

事務局 第 3 回の策定委員会の開催までに、委員のほうからご質問が挙がっているものがあります。ここでそれについて、お話させていただきたいと思います。まず、後期計画の 8 ページです。「小学校の児童数が 633 名減少しています。その一途を辿ることは想像できますから、今後の児童数の予測と学校教育の充実に向けて何か施策がありましたらお聞かせください」という質問が出ております。その回答をしたいと思います。児童数の減少につきましては、平成 34 年までは推計が出ております。その辺のお話をお願いしたいと思います。

事務局 今後の傾向で言いますと、平成 26 年から 30 年の 4 年間で 633 名減ということで、同じく 4 年間、平成 30 年から 34 年の予想で言いますと 424 名の減となっております。クラス数で言いますと、小学校全体で平成 26 年から 30 年で 29 学級の減です。この次の 4 年間、平成 30 年から 34 年までは 4 学級の減ということで、そこまでとどまる見込みであります。施策等に関しましては、現在「これからの学校教育基本構想検討委員会」を立ち上げまして、小中一貫校であるとか、コミュニティスクールであるとか、学校の小規模化などにつきまして、32 年度の答申に向けて

議論を進めている最中でございます。児童数が少なくなってきたとしても、子どもにより有意義な教育ができるように検討を進めているところでございます。

事務局

続きまして、あと二つ質問が出ております。後期計画の 21 から 22 ページをご覧ください。「⑤家庭・地域の教育力について」ですが、「機能している」もしくは「ある程度機能している」は、18 歳から 64 歳までは 50%近い数字になっておりますが、65 歳以上になると 35%程度に落ち込んでいる。65 歳以上の方の知恵を拝借したら、家庭・地域の教育力については、もっと解決の糸口が見えるのではないか」というご意見をいただきました。

これにつきましては、アンケートより見えてくる結果なのですが、回答していただいている人数が少なすぎて、正確性に欠ける部分がありますが、22 ページの「⑦地域の教育力を高めるために必要な取組み」というところがあります。50 代以上の方は「地域の大人が、地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したりする」ということに 5 割近く回答をいただいておりますので、この辺の力が不足していると思われるのではないかと思います。

次のご質問ですが、「⑦家庭の教育力を高めるのに必要な取組み」として、35%を超える内容が 4 つ挙がっています。この取組みについて、現在、松原市が行っていること、また、今後、推し進める取組みなどがありましたら教えてください」という質問です。また、「幼稚園ですが、4 歳を迎えたら子どもが入園できますが、母親の中に子育てについて相談できる人がいないとか、自分の子育てに自信がない、子育てがあまり楽しくないという方がいらっしゃる」という意見を頂いております。

子育て相談につきましては、松原市内 9 箇所の子育て支援センターを設置しておりますし、先ほどの園庭開放などで、地域のお母さん方が集まって話をする場であるとか、専門家の方に相談していただく機関などを設けているところでございます。また、地域の方や保護者と一緒に参加するフェスタであるとか、土曜体験などして、地域の方と家庭とをつなぐようなイベントを学校でも行っているところでございます。

最後にあと一問だけ、よろしいですか。

事務局

後期計画の 35 ページに「③学力向上のための校内研究体制の充実」がございまして、前期はこの後ろに括弧をして、「年間 100 回の授業研」の継続」という文言が入れてあったのですが、これについて、「それが教員の負担が増加するようなことになっていないか。実態の把握と調整が必要ではないか」というご質問でした。

100 回の中身は、全員が参加するものだけではなくて、経験の浅い教職員を対象としたアドバイザーと 2 人での授業検討であるとか、学年だけとか、部会だけとか、少人数での研修も含めてのことでしたので、昨年度は 102.5 回ということで「達成」はしているのです。ただ、ご指摘の通り、教員への負担であるとか、初任者が減ってきている現状で、100 回という数を目指すのではなくて、中身の充実を目指して

いこうということで、今回は外しております。以上でございます。

委員長

委員の皆さま方、よろしいでしょうか。

細かな文言のところまで見ていけませんでしたので、読まれてお気づきの点があれば、また事務局にご連絡いただければと思います。

時間が来ておりますので、事務局から最後の事務連絡をお願いします。

事務局

そうしましたら、今後の予定についてお話させていただきます。

まず、第4回の策定委員会の開催ですが、現在のところ、2月1日午前10時を予定しております。申し訳ございませんが、朝からの開催になりますので、ご予定をよろしくお願いたします。

第4回につきましては、振興計画素案を作成いたしまして、パブリックコメントを2月の末から3月にかけて実施したいと思います。そのパブリックコメントに供する案を作成するという形になっております。その後、平成31年度になりましてから、パブリックコメントの意見を反映させたものの検討を再度していただくという形になっております。

今回、2月1日の第4回の教育振興基本計画策定委員会までの間に、この計画につきましては議会の議決案件となり、議員の皆さまにも審議していただくということになりますので、12月に一度、議会への説明をさせていただきたく思います。その説明に対し、議会側から何らかの提案等がございましたら、1月に再度、議会のほうにその提案に対する考え方を整理したものをお示しさせていただくということをご希望したいと考えておりますのでご了承をお願いします。

その議員さんからの提案内容等につきましては、この2月の策定委員会でお示するという形になりますので、また、そちらも含めまして次回、ご審議をお願いしたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

パブリックコメントを実施後、再度、議会のほうにも説明をさせていただくことになりますので、平成31年度は、始めの計画では1回と申し上げていたのですが、もう1回追加になる可能性があるということだけ、ご了承いただきたいと思います。今後の予定につきましては以上です。

委員長
(閉会)

本日の策定委員会はこれで、終了いたします。ありがとうございました。